

SPring-8 運転・利用状況

公益財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

◎平成25年12月の運転・利用実績

SPring-8は12月2日から12月21日までセベラルバンチ運転で第7サイクルの運転を実施した。第7サイクルでは安全インターロックの動作によるアボート等による停止があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は、約0.5%であった。

放射光利用実績（いずれも暫定値）については、実施された共同利用研究の実験数は、合計219件、利用研究者は1,031名で、専用施設利用研究の実験数は合計242件、利用研究者は732名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第7サイクル（12/2（月）～12/21（土））

(2) 運転時間の内訳

第7サイクル

運転時間総計 約456時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約48時間

②放射光利用運転時間 約405時間

③故障等による down time 約2時間

総放射光利用運転時間（ユーザータイム = ② + ③）
に対する down time の割合 約0.5%

(3) 運転スペック等

第7サイクル（セベラルバンチ運転）

- ・ 11/29-filling + 1 bunch
- ・ 203 bunches
- ・ 入射は電流値優先モード（2～3分毎（マルチバンチ時）もしくは20～40秒毎（セベラルバンチ時））の Top-Up モードで実施。
- ・ 蓄積電流 8 GeV、～100 mA

(4) 主な down time の原因

- ・ 安全インターロックの動作によるアボート

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第7サイクル（12/3（火）～12/20（金））

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン	26本
専用ビームライン	19本
理研ビームライン	9本
加速器診断ビームライン	2本

第7サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数	219件
共同利用研究者数	1,031名
専用施設利用研究実験数	242件
専用施設利用研究者数	732名

◎平成25年12月～平成26年3月の運転・利用実績

SPring-8は12月22日から平成26年3月31日まで冬期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行った。

また、蓄積リング棟熱源機器の老朽化に伴い、電力需要の抑制や省エネルギー化を目的とし、熱源機器更新（機械・電気）設備工事を実施している。

◎今後の予定

SPring-8は4月1日から4月25日までセベラルバンチ運転で第1サイクルの運転を行い、5月7日から6月6日までセベラルバンチ運転で第2サイクルの運転を実施する。第1～2サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。